

標津町立標津小学校

北極星

校訓 『役に立つ子どもになる』

平成30年 1月31日

第12号

標津町南1条西3丁目

電話 82-2085

FAX 82-1280

校長 飯田輝雄

相手のよさを認め好きになること

校長 飯田輝雄

保護者・地域の皆様方におかれましては、新しい年を迎え益々ご清祥のことと存じます。今年もまたご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。これからの登校日数は、1年生から5年生が35日間、6年生は32日間です。全学年、次年度を見越した活動を意識させています。

2月23日(金)、参観日で全体懇談会と学級懇談会を行います。内容は学校評価の結果と4月から始まる英語科についての説明です。3月2日(金)の第2回PTA理事会(全理事参加)では年度末反省を行います。PTA送別会は、総会でお知らせした通り今年度から実施いたしません。また、平成30年度の主な行事予定について、1月22日に家庭数で文書を配布しておりますので、ぜひご覧ください。

学校生活アンケートで「友達と十分仲良くできた」と回答した子どもは67%でした。本校には様々な性格の子どもがいます。言い争い、けんか、暴力、暴言、無視、いじめなどは、相手を敵視することや自分勝手な言動から始まります。どうしたらみんなと仲良くなれるのか、外国の寓話に次のようなものがあります。

ある母親が子の将来を案じて「どうかこの子が誰からも好かれるようにしてください。」と神様にお願いしました。母親の願いが届き、子どもは誰からも好かれて育ちました。しかし、誰からも好かれるため、誰一人好きになることができませんでした。そのため、その子は感情のない人間になってしまいました。母親は子の異変に気づき、神様に「私の願いは間違っていました。どうかこの子が誰をも好きになれるようにしてください。」とお願いしました。必死な願いは神様に届き、分け隔て無く人を好きになれるようになった子は、みんなと仲良くできるようになり、人間らしい感情を取り戻しました。

心理学に「好意の返報性」という言葉があります。つまり「人は自分に好意を持ってくれた相手を好きになりやすい」ということです。人間関係を高めるには、まず自分から人(相手)を好きになることが大切です。人が人らしく生きる為の大切な視点とも言えます。ただし一方的、独善的な好意はストーカーやデートDVなどの犯罪を誘発する危険性もあるので要注意です。

ヒトの体は成人で約60兆個の細胞からできており、その細胞の一つ一つは30億の遺伝子情報で構成されています。AIで「どんな人間が最後に生き残るのか」を推測したところ、大方の予想が「丈夫で強い人」「競争に勝ち抜く人」に対して、回答は「譲る心を持った人」だそうです。「人の心は他人のために献身的に努力している時、理想的な状態で遺伝子が働きます。自分の心を充実させたかったら、人の心を充実させてあげる、という生き方をすれば良いのです。」と心理学者も述べています。もともと「譲る心を持った生物」として、ヒトはこの世に創造されてきたのかも知れません。

本校では、人(相手)の心を大切にすることの育成に力を入れております。保護者・地域の皆様も、まず人(相手)を好きになることを子どもたちに指導してください。家庭でも井戸端会議でも、子どもの

前での悪口や罵詈雑言は、拒否や嫌悪、敵視の遠因になることをご理解ください。みんなが安心、安全に暮らせる世の中を目指して、今年も教育活動に取り組んでまいります。

平成30年2月の行事予定から

日	曜	行	事	日	曜	行	事
1	木	フッ化物洗口		15	木	フッ化物洗口	
2	金	研修日		16	金	研修日 町特別支援卒業祝う会	
3	土	週休日		17	土	週休日	
4	日	週休日		18	日	週休日	
5	月	分掌部会 ALT 生活リズムチェック週間(～10日まで)	授業改善推進チーム	19	月	職員会議 ALT	授業改善推進チーム
6	火	全校朝会 スケート記録会		20	火	きらり☆タイム	
7	水	よむよむ☆ママさん隊 PTA 役員会 (スケート記録会予備日)		21	水	児童会役員選挙 よむよむ☆ママさん隊	
8	木	標津地区一貫教育推進協議会 フッ化物洗口 14時30分下校		22	木	町P連理事会 フッ化物洗口	
9	金	午前授業(給食有) 13時下校	↓	23	金	参観日	↓
10	土	週休日		24	土	週休日	
11	日	週休日 建国記念の日		25	日	週休日	
12	月	振替休日		26	月		
13	火	全校朝会 委員会		27	火	全校朝会	
14	水	新一年生小学校体験入学 よむよむ☆ママさん隊		28	水	よむよむ☆ママさん隊	
<small>せいかつもくひょう</small> 生活目標 <small>きもちのよいあいさつと</small> 気持ちのよいあいさつと <small>やさしいことば</small> 優しい言葉づかいを心がけよう				<small>ほけんもくひょう</small> 保健目標 <small>ふゆ けんこうに</small> 冬を健康的に過ごそう			

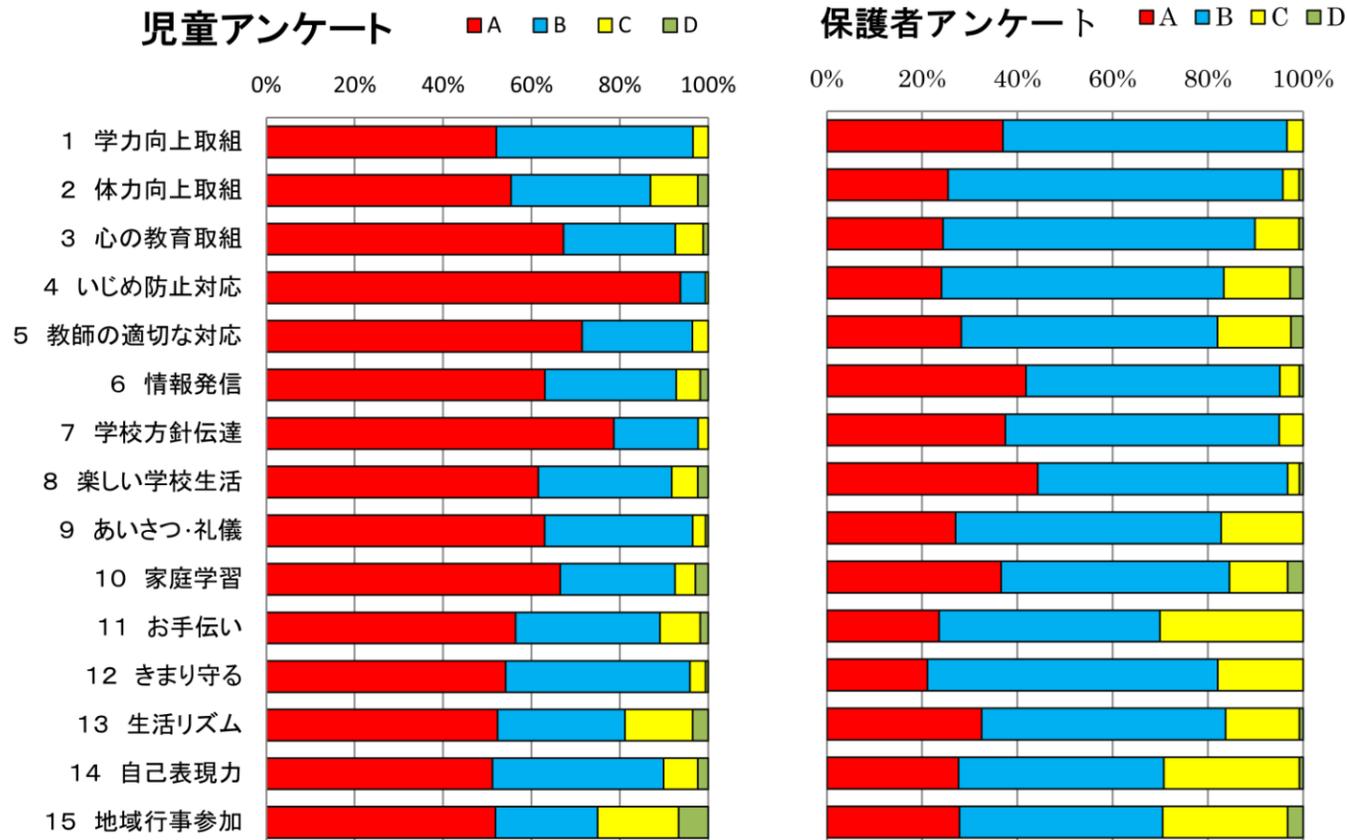
流行性感冒(インフルエンザ) 予防

1月24日(火)、中標津保健所管内にインフルエンザ注意報が発令されました。今後、流行がさらに拡大する可能性があります。標津町ではまだそれほど流行していませんが、いつ、どこで罹患するかわかりません。気管支炎や肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんや脳症などを併発して、重症化することもあるようです。感染予防には、流行時に人混みを避けること、それが避けられない場合などにはマスクを着用すること、外出後にはうがいや手洗いをすることです。予防には十分に気を遣ってください。

★★★学校評価の結果について★★★

1 2月に行われた「学校教育活動アンケート」のご協力ありがとうございました。学校評価は、以下の点を踏まえて行っております。

- 1 教育活動内容の達成状況を保護者の皆様にアンケート形式により評価していただきます。
- 2 開かれた学校づくりのため、また、学校の説明責任を果たす方法として法律で規定されています。
- 3 皆様のご意見を今後の学校経営の改善資料として活用いたします。
- 4 記名をお願いするのは、客観的な評価をしていただくためです。
回答については、以下のグラフにまとめました。



児童・保護者アンケートでは、「十分達成されている (A)」「ほぼ達成されている (B)」を合わせると、ほとんどの項目で 80%を超えています。子どもたちは、学力・体力の向上に手ごたえを感じているようです。「いじめは絶対にしてはいけない」という人権に対する意識もしっかり育っています。

保護者アンケートの自由記述では、学校への感謝の言葉を多くいただいております。課題は「友達関係の悩み」「いじめの早期発見」「いつでも相談できる教師」などでした。ひとつひとつ丁寧に対応し、保護者の皆様のご期待に応えられるよう最大限努めて行きます。

学校運営協議会(コミュニティスクール)委員の皆様にもご回答をいただいております。子どもの様子については、「子ども達の笑顔、挨拶がとても素晴らしい」「行事等でも常にきまりを守り、将来の姿が楽しみです」等、肯定的なご意見が数多くありました。登下校の様子からでは、「横断歩道をしっかり歩き、停止している車はきちんと礼をしていて気持ちが良い」とある一方で、「一部急に道路横断、信号無視をする児童も見られます。」とのご指摘もありました。命に関わることですので、ご家庭との協力も得なが

ら、交通安全の意識を高めていきます。

今回の調査結果を参考として平成30年度の学校経営方針を立案します。来年度は、今年度よりも教育の質を更に向上させ、より高評価をいただけるように努力いたします。ご協力ありがとうございました。

★★★冬休みの作品★★★

冬休み中に作成された作品が、各学年の学習室に展示されました。どの作品も一生懸命に作成した感がありました。その素晴らしい工夫やがんばりが伝わってきます。

家族と一緒に取り組んだ子、クラブ活動での経験を生かした子、友達の喜ぶ顔を思い浮かべて作った子。

みんなよくがんばりました。



★★★スケート学習★★★

3学期がスタートし、スケート学習がいよいよ始まりました。2月6日(火)に行われるスケート記録会に向け、子どもたちは、元気に学習に励んでいます。

23日(火)に行われた第1回目の学習は風雪がかなり強いなど、大変厳しい条件となりましたが、どの子も寒さに負けず、一生懸命滑っていました。冬休み中に、リンクに通った子ども達は、その成果を発揮しようと張り切っていました。25日(木)に行われた第2回目の学習は、ほとんど風を感じない良いコンディションで行われました。それぞれの学年ブロックで、タイムを取るなどして、記録会に向けた練習が行われました。



★★★2年生 さけ学習★★★

24日(水)、サーモン科学館館長の市村氏に來校して頂き、2年生のサケ学習を行いました。

今回の学習は、孵化した稚魚を水槽に入れる学習です。孵化した稚魚は、昨年11月に6年生がサーモン科学館で人工授精したものです。

孵化したばかりの稚魚を館長が水槽に入れると、稚魚たちは尻尾を一生懸命、振り動かし水槽の中を泳いで行きました。その姿に、2年生の子どもたちは、顔をほころばせ、「かわいい!」と大きな歓声を上げていました。

この稚魚は、現在の2年生が3年生に進級した後の5月に、サーモン科学館に出かけ、放流することになります。



★★★しべつっ子 家庭教育 10ヶ条より★★★

第8条

**進んでお手伝い 支え合い 協力し合える
優しい心 責任感を育てます**

家族の一員として手伝いを奨励し、協働する喜び、優しい気持ちや自主性、責任感を身につけさせましょう。